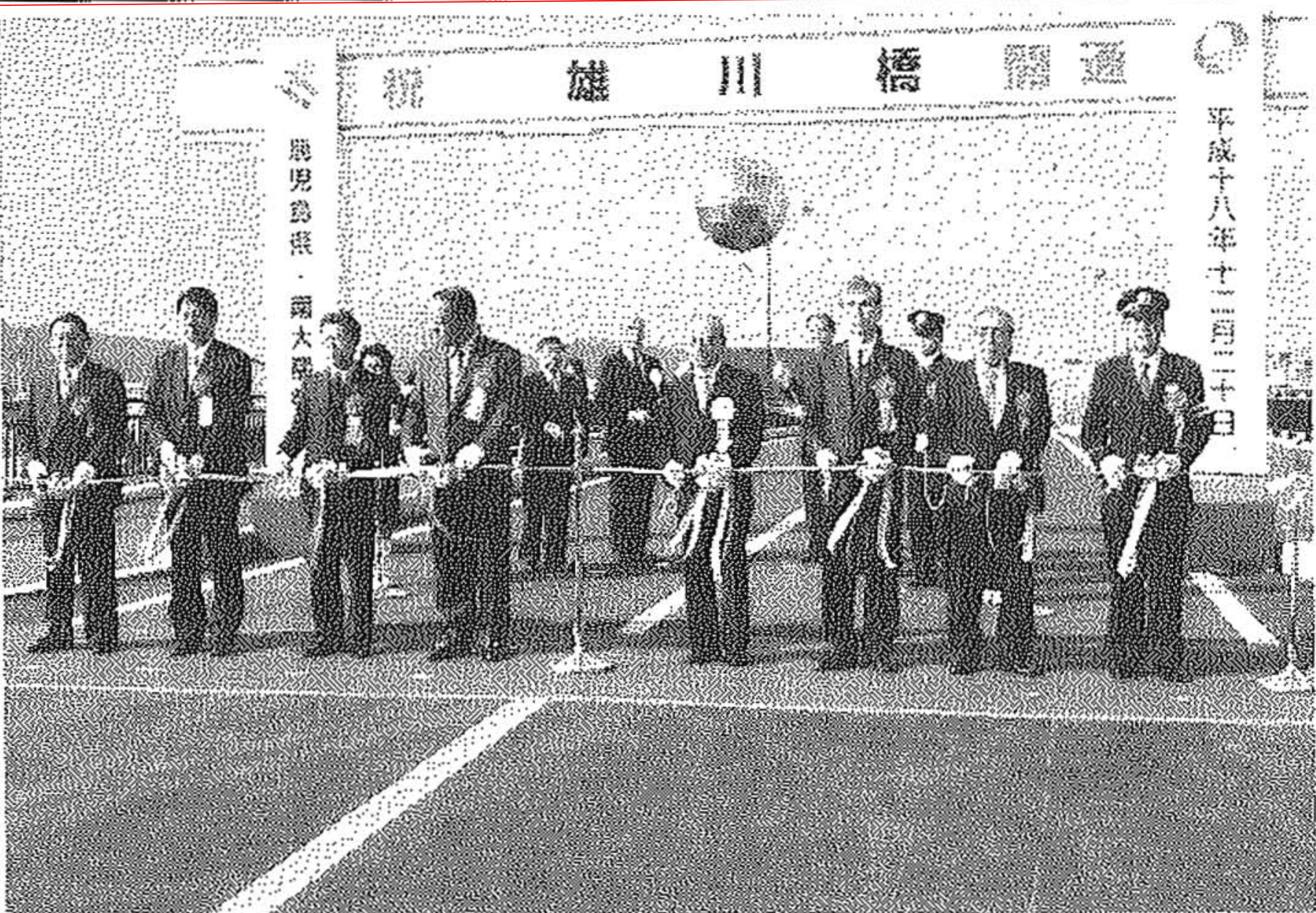


鹿屋土木、雄川橋開通式

交通支障の解消に

県鹿屋土木事務所(上) 雄小鶴博所長)が進めてき「雄川橋」開通式が20日、南



テープカットで開通を祝う関係者
＝南大隅町の現地で

大隅町の現地で国・県議会議員、南大隅町長、錦江警察署長、地域住民や県・町の関係者と施工業者ら約130人が参加して、テープカットや渡り初めを行い開通を祝った。

旧橋は、昭和29年に架設されたコンクリートゲルバー橋で大型車のすれ違いや朝夕の通勤通学時の歩行者等の離合に支障をきたしていた。また、経年による老朽化や浸水被害でたびたび補修補強が行われてきた。これらの問題を解消すべく新しく雄川橋が完工した。

竣工式・安全祈願祭

瀬戸内町と瀬戸内建設業協会が
大規模災害における対策協定締結

災害から町を守る

する協定を締結した。県と県建設業協会が今年1月24日に結んだ大規模災害

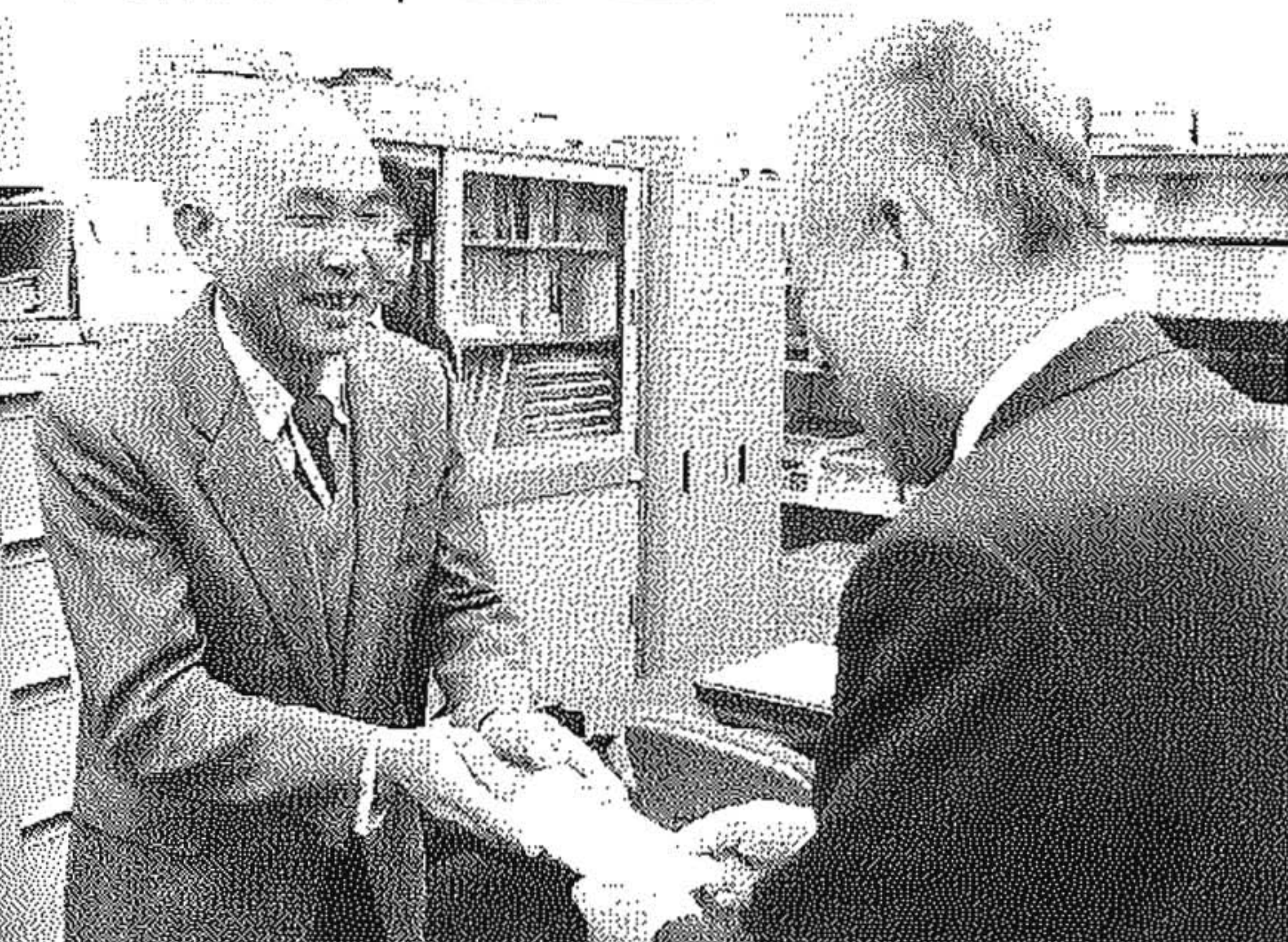
害時の応急対策協定を踏まえてのもので、締結による有効期間は19年3月



協定書を交わす伊東会長(左)と義永町長
＝瀬戸内町役場で

31日までとなっている。同協定は、大規模な風水害や地震、火災などの大規模災害が発生または、その恐れがある場合に町の要請に応じて協会が公共土木施設などからの障害物の除去・応急の復旧のほか、民間施設からの障害物の除去・応急処理などに対応するもの。同協会は、これまでも

米盛理事長に笑顔で献金を手渡す伊藤会長(左)＝鹿児島市の県交通被災者たすけあい協会



米盛理事長に笑顔で献金を手渡す伊藤会長(左)＝鹿児島市の県交通被災者たすけあい協会

交通遺児に役立てて

エス・エム・エスコポレシオン安全協力会(伊藤文典会長)は22日、鹿児島市の県交通被災者たすけあい協会(米盛庄司理事長)を訪れ、交通遺児援護活動基金として20万円を献金した。

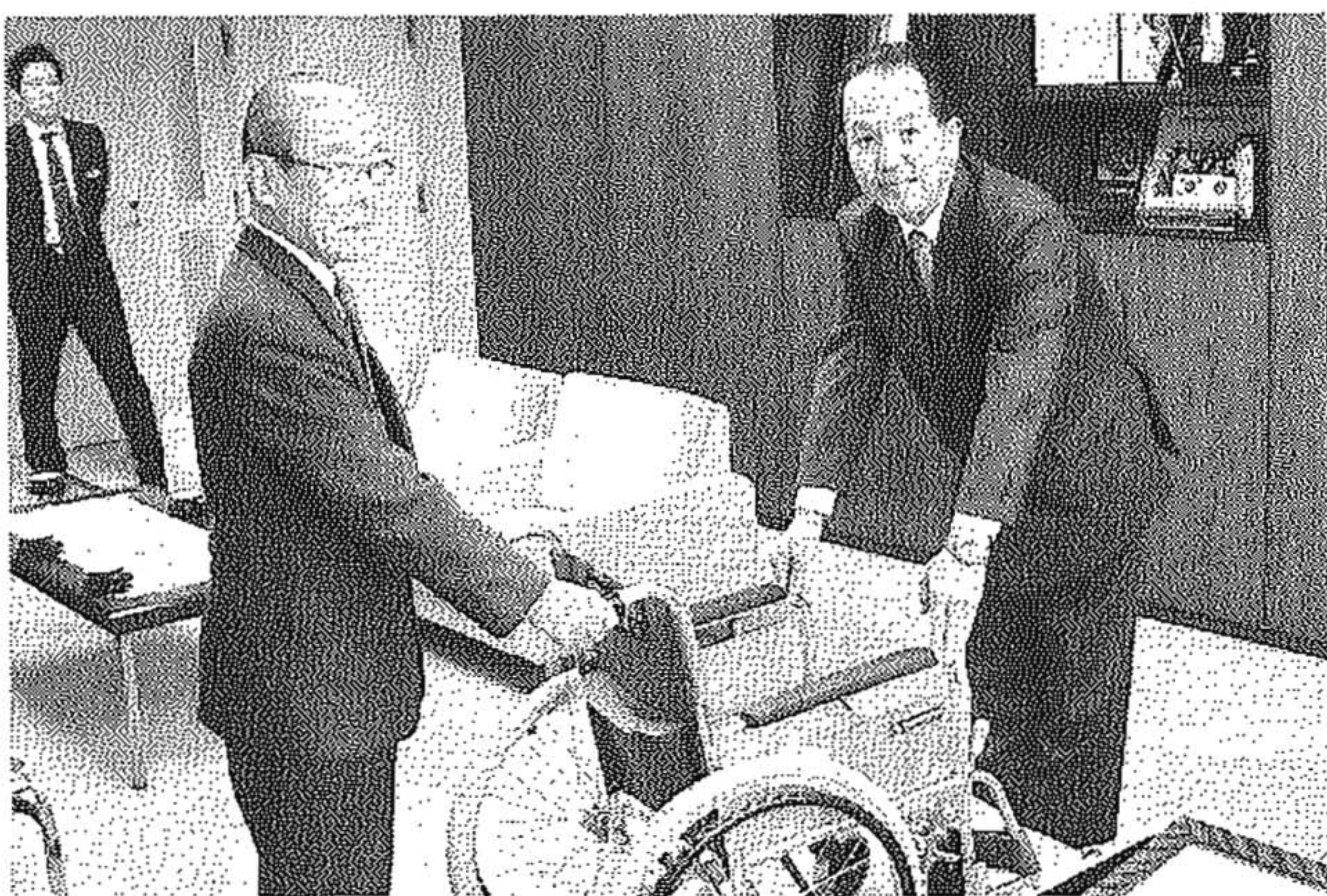
同協会は、これまで

エス・エム・エスコポレシオン安全協力会が献金

県電気工業会工組青年部協議会

県福祉協に車いす贈呈

原田会長に車いすを贈呈する大野会長(右)＝鹿児島市の県社会福祉協議会で



6年度からチャリティー益金を活用し、車いす2台を毎年寄贈している。今回で13回目を数え、寄贈実績は累計26台。今年

が執り行われた後の開通式では、国・県議員や上小鶴所長、税所篤朗南大隅町長、大村一裕(株)大村工務店社長らがテープカット。その後、地元中

学生代表らがくす玉開破を行った。根占中学校吹奏楽部による演奏の中、参加者と親子三代による渡り初めを行い、完成と供用開始を祝った。

同橋は、延長270m、2車線、幅員は14・5m、活荷重25t相当でPC4径間連絡バイプレ工法の上部工形。総事業費は約24億円。

高田電気が清掃奉仕

心地よい汗を流す

高田電気(株)(高田幸三社長、奄美市)は3日、瀬戸内町加計呂麻の特別養護老人ホーム加計呂麻園で、照明器具点検・清掃等の奉仕活動を実施し、関係者から喜ばれた。

記念写真に納まる関係者＝瀬戸内町加計呂麻の特別養護老人ホーム加計呂麻園で



活動は、日ごろからお世話になっている地域社会への恩返しの意味を込めて行われたもの。当日は、社員ら8人が参加。高田祐樹常務が、注意事項や作業範囲などを説明を行った後、参加者はそれぞれ持ち場に移動し作業を開始。照明器具の球替えや空調機のフィルター清掃等に心地

県新エネルギー開発協会忘年会

さらなる結束誓う

県新エネルギー開発協会(今別府英樹会長)は20日、鹿児島市の吾愛人会で18年度忘年会を開き、会員らが多数参加して今

幅広く活動を展開していきたい――と挨拶する今別府会長＝鹿児島市の吾愛人で

購読料のお支払いは
お手軽で便利な
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ